

MJ

AUDIO TECHNOLOGY

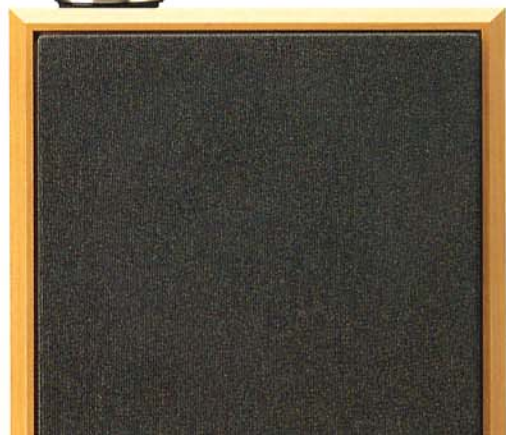
無線と実験

1998

1

第16回 MJテクノロジー・オブ・ザ・イヤー MJ独占取材 WE300Bの製造ラインを見る

双5極管6DZ7単管ppパワーアンプ
アイマック100THシングル30Wパワーアンプ
アンペックスNo.6516 807ppパワーアンプ



AUDIO TECHNOLOGY MJ 無線と実験

1998

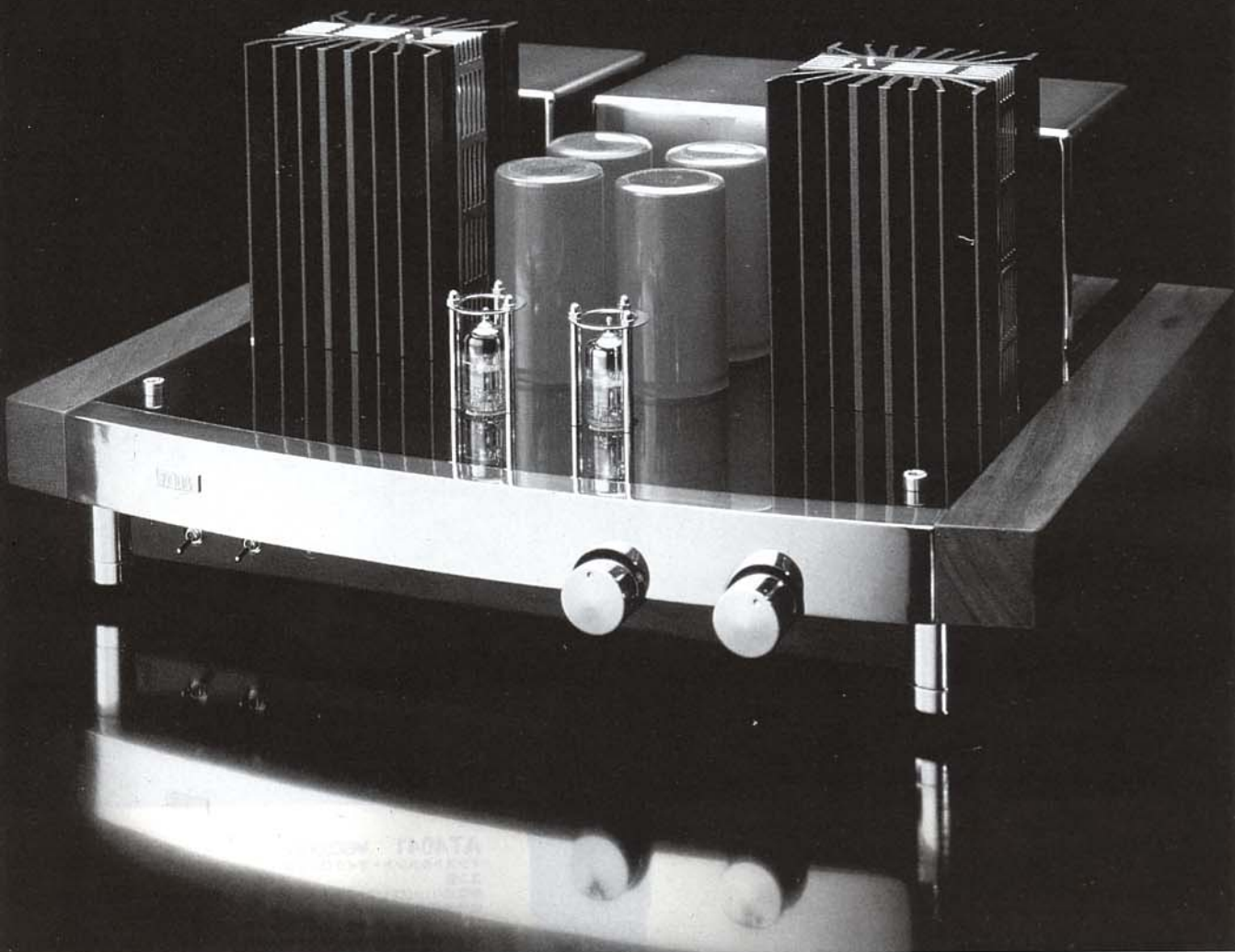
1

テクノロジー・オブ・ザ・イヤー

誠文堂新光社

PATHOS®

完璧なる均衡、イタリアン・デザインの申し子。



Twin Towers Integrated Amplifier

¥680,000 (税別)

真空管と半導体を融合させるハイブリッド構成。そこから両者のメリットを完璧に引き出すことは口で言うほどやさしいことではありません。《Twin Towers》では歪みを減少させる革新的な《パトス》独自の INPOL 回路、巧みなシャーシ・コンストラクション、厳選したハイグレードパーツの使いこなしなどが相俟って真空管、半導体それぞれの美点を高度に両立させています。最新半導体アンプの持つクリアさやスピード感、真空管の持つ温もりや充実感が、その官能的なボディの中に共存しているのです。また、その美しい姿態はイタリアン・デザインの極みともいべきものです。クロームのパネルにゴールドのパーツ、ほのかな光りを発する真空管や鮮やかなレッドのコンデンサー、黒いヒートシンクなどが絶妙な均衡を保ちシャーシ上に配されています。従来のアンプのイメージを覆すかのような斬新かつ果敢なフォルムはインテグレートッド・アンプの新時代を思わせます。

《パトス Twin Towers》のオーナーは美しいフォルムとハイクオリティ・サウンドに酔いしれることになるでしょう。

オーディオフェスティナゴヤ'98
2/6(金)7/土)8/日)電気文化会館・入場無料

NASPEC
CORPORATION

株式会社ナスベック

営業本部 〒161 東京都新宿区上落合1-8-15-405 TEL 03-3368-1425 FAX 03-5331-7628

業務本部 〒500 岐阜県岐阜市日野北4丁目16-11 TEL 058-240-4336 FAX 058-240-3458

真空管部門優秀賞

パースTwin Towers

¥680,000

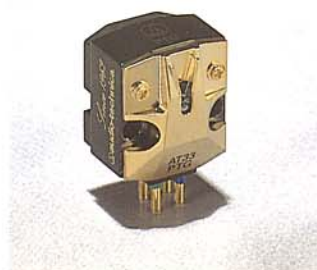


前段に真空管、出力段に3バラパワーMOS-FETを採用したハイブリッド方式のプリメインアンプ。特徴はソースフォロワーA級シングル出力段にあり、効率の悪いA級シングルの電源の利用効率を上げるためにソースフォロワーの負荷にチョークコイルを採用している。

アナログ機器部門優秀賞

オーディオテクニカAT33PTG

¥40,000



振動系に金蒸着無垢ボロンのカンチレバーにマイクロロニア針を装着。発電系はネオジウム磁石と6N PCOCCコイルと組み合わせて0.5mVという高出力と15~50,000Hzという広帯域を確保。振動対策として、ケース内に特殊防振ゴムを入れ、チタン酸カリウム樹脂によるコイルの固定がされている。

アナログ機器部門優秀賞

オーディオクラフト TS-200

¥160,000

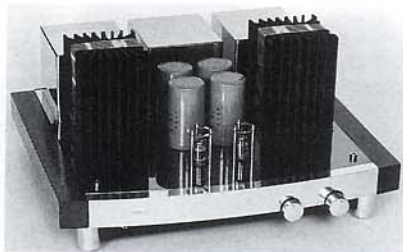
MCカートリッジの微小な出力電圧を実用レベルにまで高めるにはヘッドアンプか昇圧トランスによるが、オーディオクラフトはその両方を発売している。このTS-200では少ないコイルのターン数でもインダクタンスを稼げるようにコア材に大型ハイμを使用し、線径を太くして低損失化を図った広帯域、高SNの昇圧トランスである。



真空管部門優秀賞

パトス Twin Towers

¥680,000



真空管とMOS-FETで構成された、ライン入力専用の30W+30W/8Ωインテグレートッドアンプで、「回路は極力シンプルに、パーツは高音質タイプを惜しみなく」という設計思想が貫かれている。プリアンプ部は、双3極管の1段増幅型無帰還反転アンプに、カソードフォロワーのバッファーを追加した構成。パワーアンプ部は、チョークコイル負荷の3パラMOS-FET純A級ソースフォロワーのみという、超シンプルな構成である。音質は、シンプル回路ならではの鮮度の高さが印象的で、ピアノシモの透明感と描写力は特筆もの。弦やボーカルが、たいへん艶やかで瑞々しい点も魅力的だ。(柴崎)

真空管部門賞

ソニックフロンティア Line1, Power1 ¥450,000(各)



ソニック・フロンティアはカナダ、オンタリオ州オークヴィルに拠を構える真空管アンプ専門メーカーだ。同社は設立当初はマニア向けに高級オーディオ・パーツの通信販売や技術的アドバイスをしていた会社だけに使用パーツのグレードの高さが際立っている。本ペアは設立直後からのSFシリーズの後を継ぐPower、Lineシリーズのベーシックモデルだ。Line1は名前通りライン専用のプリでPower1はビーム出力管6550Cをプッシュプルで使い55W/ch(8Ω)という出力を得ている。本ペアが聴かせるサウンドは紛れもなく真空管アンプの音だが懐古的ではなく現代的な切れの良さがある。

アナログ機器部門優秀賞

オーディオテクニカ AT 33PTG

¥40,000



創業35周年を記念して作られた、AT33シリーズの最新モデル。振動系にはマイクロニア針を装着した金蒸着ボロン無垢カンチレバー、発電系には6NのPCOCCコイル、磁気回路には強力なネオジウム磁石を採用し、17Ωのコイルで0.5mVという高出力と、15~50,000Hzという広帯域を確保。ケース内にはハネナイト防振ゴムを用い、コイルはチタン酸カリウム樹脂で固定するなど、振動対策にも細かい配慮が払われている。音質は、芯のあるくつきり鮮明な中~高域と、パワフルで制動の効いた低域が特徴。高出力なのでS/Nが良く、音場は立体的で音像定位も明確。値付けも超良心的だ！(柴崎)

アナログ機器部門優秀賞

オーディオクラフト TS-200

¥160,000



高級素材をふんだんに投入した、低インピーダンスMC用20dB昇圧トランス。初透磁率が15万ガウスという超ハイμの大型コアを用いて少ない巻数でインダクタンスを稼ぎ、コイル径も太くして、大型化に伴うハンディキャップの克服と、低内部損失化が図られている。2次側には、出力ケーブルの影響挿入されているが、これには高価なビシエイS-102K金属箔抵抗器を敢えて採用。伝送帯域は10Hz~100kHzとひろく、チャンネルセパレーションは100dBもとれている。高S/Nで滑らかな音質と、奥行きのある臨場感あふれる音場が特徴だ。

(柴崎)